

平成三**十**年度

ふくしまを**十**七字で奏でよう

絆ふれあひ支援事業

「入賞作品集」

平成三**十**年度キヤッチフレーズ

同じ時間ときともに奏でる **十**七字

主催 福島県教育委員会

絆部門 最優秀賞

母ひるね そつともうふを かけるぼく

会津若松市立荒館小学校四年 星 郁吹(子)

がまんして 子の優しさに 汗をかく

星 あや(母)

洗濯に 埋もれてたたむ 母笑顔

須賀川市立第三中学校三年 鈴木 眞優(子)

洗濯の 多さ元気の 数と知る

鈴木ひろみ(母)

まあだかな 暗い畑の ばば想ふ

中島村立中島中学校一年 入野田絆菜(孫)

孫の手に 心も灯す 懐中電灯

藤田 啓子(祖母)

おはようの 声のトーンで みやぶられ

双葉町立双葉中学校三年 吉田小百合(子)

いいんだよ 頑張ってるの わかるから

吉田 則恵(母)

ママきいて なんばんめにね ぼくがすき

大玉村立玉井幼稚園年長 五十嵐 桜俐(子)

耳もとで 一番好きよ ひみつだよ

五十嵐真由子(母)

絆部門 優秀賞

つかまつて つえのかわりに わたしので

小野町立小野新町小学校三年 吉田 瑞希(曾孫)

まごのてが やさしさいっぱい たのもし

橋本セツ子(曾祖母)

なむあみだ たきたてごはん あげ申す

南会津町立伊南小学校四年 大桃 玄土(子)

おがんだら みんなそろって 朝ごはん

大桃 美子(母)

じいちゃん はみつからないよどこいったあー

新地町立駒ヶ嶺小学校一年 八巻 琴春(孫)

かくれんぼ 昔に戻って 本気出し

八巻 定男(祖父)

夏休み 家庭教師は 父母祖父母

白河市立白河中央中学校二年 網藤みつき(子)

どれどれと 不安かくして えらそうに

網藤 朋子(母)

相部屋で 母と語らい 七年間

新地町立尚英中学校三年 目黒智誉美(子)

狭き部屋 娘の寝息 安眠剤

目黒智恵子(母)

絆部門 佳作

おてつだい ままのえがおが うれしいな

二本松市立塩沢小学校一年 橘田 桜麗 (子)

ありがとう たたんだ服を またたたむ

橘田 麻衣 (母)

二千こす 石だん上がる ぼくの足

郡山市立柴宮小学校三年 河野 巧歩 (子)

抱っこして 登った記憶 懐かしむ

河野 智彦 (父)

ならったじ いつもありがとう てがみかく

須賀川市立長沼小学校一年 菅野 柚樹 (子)

嬉しくて お守り代わりに ポケットへ

菅野 紀子 (母)

朝ごはん うまいんだよなあ ばあちゃんち

郡山市立安積第二小学校四年 遊佐 一平 (孫)

孫のため 品数増える 盆の朝

酒井マツ子 (祖母)

ねえばあちゃん トマトが三つ ならんでる

泉崎村立泉崎第二小学校四年 新田 菜音 (孫)

あら本当 あなたと同じ 三兄妹

角田 京子 (祖母)

のまおいで 「まいれ、まいれ」とがんばった

南相馬市立鹿島小学校一年 酒本 龍牙 (子)

この日だけ 小さな息子が 武士になる

酒本木綿子 (母)

じいちゃんと きょうそうしてる ゴミ出しを

いわき市立中央台北小学校二年 高木 悠心 (孫)

手伝いの スイッチ入れも 一仕事

高木 良平 (祖父)

笹竹を 支える僕と 結ぶ母

会津若松市立第二中学校三年 棚木 響平 (子)

短冊に 祖母の健康 願う孫

棚木 千春 (母)

夕日背に 母と眺める 僕の町

南会津町立田島中学校二年 湯田 依吹 (子)

我が町と つぶやく息子に 胸あつく

湯田 美奈 (母)

二人して 浴衣着せ合う 夏祭り

いわき市立小名浜第一中学校二年 今泉 葉花 (子)

手を伸ばし 背伸びで娘の 髪まとめ

今泉 尚子 (母)

復興部門

最優秀賞

夏の海 七年ぶりの磯遊び

福島市立荒井小学校六年 佐藤 正規 (子)

七年の年月語る 防潮堤

佐藤紀代美 (母)

いつ会える もう言わないよ お父さん

南相馬市立鹿島小学校三年 渡部 琉斗 (子)

子供達 また一緒に 暮らせるぞ

渡部 英晃 (父)

はじめてね そうまのうみで あそんだよ

相馬市立飯豊小学校一年 佐藤 静波 (子)

我が子らに ようやく教えた 塩の味

佐藤 栄伸 (父)

常磐道 稲穂が風に そよいでる

南相馬市立原町第一中学校二年 野田 悠大 (子)

あの時の がれきの山が 黄金色

野田 精顕 (父)

かつかつと 馬蹄が時間をノックする

福島県立郡山支援学校高等部二年 木暮 真瑚 (子)

騎馬武者の 勇姿笑顔で 子らと観る

木暮 優子 (母)

復興部門

優秀賞

たんじょうび おおきくなったと せいくらべ

棚倉町立社川小学校一年 小河原優奈 (子)

七年前 あなたはお腹に いたのよと

小河原奈希 (母)

さびしいな となりのおばちゃん 帰ってく

会津若松市立河東学園小学校四年 大竹 優綺 (子)

復興と 言う名の別れも さみしくて

大竹美和子 (母)

津波の跡 目にして走る 新道路

新地町立福田小学校六年 荒 元騎 (子)

津波の跡 今日への道のり 思いはせ

荒 陽子 (母)

火の玉道 迷わず戻れた 故郷へ

南相馬市立小高中学校二年 發田 紗織 (子)

火の祭り ふるさとまでの 道しるべ

發田 悦子 (母)

黄アゲハの 舞う庭跡地 祖父がいる

いわき市立平第二中学校一年 和田 楽 (子)

黄アゲハが 舞う墓参り 見守られ

和田 好恵 (母)

復興部門 佳作

震災時 私を守った 優しい手

須賀川市立白江小学校四年 阿保緋衣侶 (子)

思い馳せ 笑顔の遺影 手を合わす

阿保 真澄 (母)

とれたての 赤いトマトに かぶりつく

白河市立白河第二小学校六年 戸倉 知夏 (子)

収穫が 出来る喜び 感謝して

戸倉 紀子 (母)

プールより やっぱり地元の 海がいい

相馬市立中村第二小学校五年 櫻井聖玲葵 (子)

海水を 浴びて笑顔の 漁師の子

櫻井 健博 (父)

高台に 家がいっぱい たつてきた

いわき市立内町小学校三年 内藤 凜乃 (子)

あの家の 外壁はつたの おとうさん

内藤 康勝 (父)

左上 ちゃんととめたよ おかあさん

いわき市立汐見が丘小学校二年 榎田 弘太 (子)

初めてね 語り部資料 お手伝い

榎田さやか (母)

震災を 皆乗り越えて 笑顔咲く

郡山市立富田中学校二年 佐久間陽太 (子)

平凡な 日々に感謝と 気づかされ

佐久間順子 (母)

植樹祭 小さな苗に 祈り込め

南相馬市立原町第一中学校一年 紺野 陽可 (子)

その手から 思い伝われ 復興樹

紺野 夏希 (母)

いつてきます 一時立入 墓参り

森 路子 (母)

十五歳 なつたらふるさと 見てみたい

いわき市立平第三中学校三年 森 すみれ (子)

いつまでも 故郷の海は あたたかい

いわき市立中央台北中学校三年 荒井 凜子 (子)

ふるさとの 海の青さが 心染む

荒井美恵子 (母)

ここに来て 夢中になること 見つかった

宮城県白石市立白石第二小学校六年 青木 環奈 (子)

震災を プラスに変える 子は強し

青木 秀正 (父)

ふくしま応援部門

おいしくて 笑顔になって 桃のほお

愛媛県宇和島市立吉田中学校三年 榎垣 碧位 (子)

桃の香が 思いではこぼ 過ぎし日の

榎垣 賢一 (父)

大内宿 歴史を感じる 観光地

東京都江戸川区立西小松川小学校六年 宮崎 彩花 (児童)

茅草に 残りし江戸と 会津弁

高松 美穂 (先生)

じじのもの なまらおいしい まつてるよ

北海道江別市立大麻小学校五年 鈴木あすか (子)

美しさ 吾妻のうさぎ 永遠とわにあれ

鈴木 邦彦 (父)

おつまみは いか人参で 決まりだね

東京都江戸川区立西小松川小学校六年 佐藤 絢香 (児童)

晩酌の あては娘の 飯の友

高松 美穂 (先生)

スーパーで 飛びつく野菜は 福島産

細山田美紀 (母)

おいしいね 真心こもった 野菜たち

神奈川県横浜市立小山台中学校三年 細山田明翔 (子)

冬冷えて 白鳥着水 いなわしろ

東京都江戸川区立西小松川小学校六年 内山 翔結 (児童)

白い影 寄りて波紋が 描く冬

高松 美穂 (先生)

赤べこが みんなを守る おじぎして

東京都江戸川区立西小松川小学校五年 大滝 夕楓 (児童)

「行ってきます」 毎朝交わす ご挨拶

大石 元気 (先生)

希望とは いつでもあなたの そばにいる

北海道札幌白石高等学校三年 前田悠里花 (生徒)

赤べこを ながめて懐おもう うつくしま

北海道札幌白石高等学校三年 太田 蘭 (生徒)

桃月とうげつの 花見て偲おもふ 旅立つ日

北海道札幌白石高等学校三年 福田 優希 (生徒)

歩き出そう 雛菊デイジーの種 植えながら

北海道札幌白石高等学校三年 前田悠里花 (生徒)

おかわりだ おこめやまもり ああうまい

東京都江戸川区立西小松川小学校三年 和田 凌大 (児童)

ああうまい みんな負けずに おかわりだ

近藤 雅穂 (先生)

審査委員講評

本宮高等学校教諭・詩人

和合 亮一 様

たくさんの応募がありました。とても嬉しく拝読させていただきました。言葉と心のキャッチボールがしつかりなされていた作品がたくさん集まったと思います。今の暮らしや季節の移り変わりをとらえて書き留めておくこと。それを大切な人に手渡すことの出来る喜びが伝わってきました。これからも家族、友人、ふるさとへの思いを言葉にして残していきたいでしょう。心は言葉を、言葉は心を育てます。福島から大事に伝えていきましょう。

新地町教育委員会教育長

佐々木 孝司 様

「絆」部門では、ペアの作品が見事なまでに調和しており、相手への思いやりの心が手に取るように感じ取ることができました。対象が人物である作品が大部分でしたが、創意工夫のもとで心の琴線に触れる情景が十七字で鮮明に描き出されておりました。

「復興」部門では、復興が進展している喜びや故郷再生を希求している心の様相を実体験から表現した作品がほとんどで、真実のほとばしり出る勢いが伝わってきました。

人間の記憶は時刻の流れとともに不確実になります。感動したことは、しつかりと書き留めておくことが大切ですね。表彰された皆さんには俳句独特の約束事を学び、読み手を意識した句の創作を期待したいと思います。

福島県公立学校

退職校長会会長
室井 君男 様

親と子、祖父母と孫、姉と弟、それぞれの心と心が音叉の音響のように響き合い、見事なハーモニーを醸し出している作品が多く、なぜか読む者をほっと安心させ、温もりで心をいっぱいにしてくるような素晴らしい作品ばかりでした。

十七文字に綴ったそれぞれの想いと琴線に触れることができ、心から感動いたしました。



応募状況

平成十四年度、子どもからお年寄りを対象に、様々な体験活動の中で共感したことを、十七字で創作表現することにより、言語活動を磨くこと、豊かな感性を醸成すること、ことばの大切さを認識することを目的として、本事業が誕生しました。

初年度から、一〇、〇九二作品という多くの応募があり、十六年目を迎えた昨年度は、応募者総数が一〇〇万人を突破するという記念すべき年となりました。今年度は事業開始以来最多となる、四四、五四五作品という応募を、県内外からいただきました。

御協賛をのただりた 企業・団体の皆様

会津中央乳業株式会社
株式会社岩瀬書店
株式会社ダイユーエイト
株式会社テレビユー福島
株式会社ナカジマエレテック
株式会社福島銀行
株式会社福島中央テレビ
株式会社ラジオ福島
株式会社リオンドールコーポレーション
公益財団法人日本漢字能力検定協会
公益社団法人福島青年会議所
東信建設工業株式会社
ふくしまFM
福島信用金庫
福島トヨタ自動車株式会社
福島民報社
福島民友新聞社
有限会社吾妻印刷
酪王乳業株式会社

(五十音順)

御協力誠にありがとうございます。

御後援をのただりた 企業・団体の皆様

NHK福島放送局
株式会社テレビユー福島
株式会社福島中央テレビ
株式会社福島放送
株式会社ラジオ福島
公益社団法人福島県私立幼稚園・
認定こども園連合会
ふくしまFM
福島県高等学校長協会
福島県高等学校PTA連合会
福島県公立学校退職校長会
福島県国公立幼稚園・こども園長会
福島県小学校長会
福島県私立中等高等学校協会
福島県中学校長会
福島県特別支援学校PTA連合会
福島県PTA連合会
福島テレビ
福島民報社
福島民友新聞社

(五十音順)

御協力誠にありがとうございます。

お問い合わせ先

福島県教育庁社会教育課

〒960-8688

福島市杉妻町2番地16

TEL 024-521-7799

FAX 024-521-7974

URL [http://www.pref.fukushima.lg.jp/
sec/70016a/](http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/)



ふくしまから
はじめよう。